

事例報告

第4回検討会議で報告した事例

段階的な土地利用転換

シンガポール：マリーナベイ



アクティビティを誘発する
オープンスペースが地域の
魅力や価値の向上に寄与

ニューヨーク：ブライアントパーク



オープンスペースを中心
とした周辺地域とのつながり
による魅力・価値の創出

ロンドン：キングスクロス



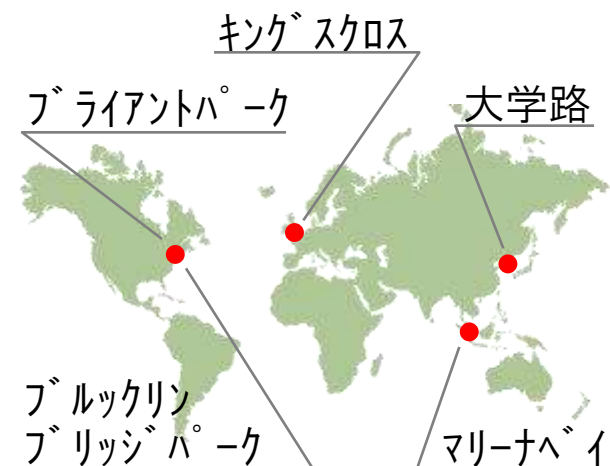
大規模土地利用転換に伴う
新たな魅力・価値の創出

ニューヨーク：ブルックリンブリッジパーク



大学跡地周辺のまちづくり
により新たな価値を創出

ソウル：大学路（テハンノ）



紹介する事例

広場・商業機能等を中心として人が集まる事例

パリ：フォーラム・デ・アールの再生



都市機能の整備・更新によりまちの魅力・価値を創出

ビルバオ：文化機能等を中心とした都市再生



複合機能を導入する開発によりまちの魅力・価値を創出

ニューヨーク：パシフィックパークブルックリンプロジェクト



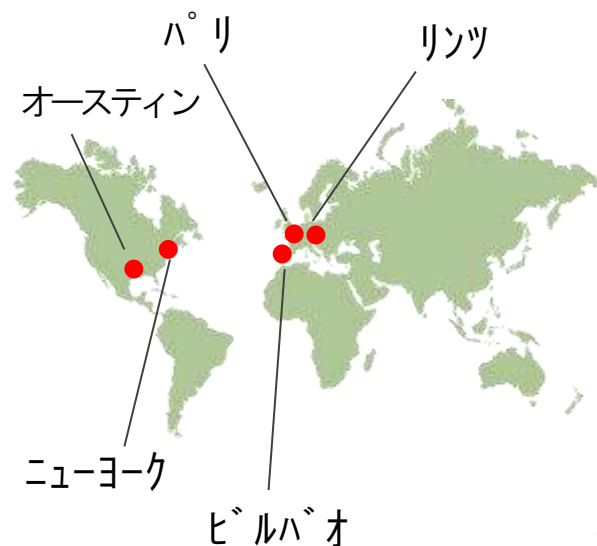
文化・芸術プログラムが、まちの魅力・価値の向上に重要な役割を果たした事例

リンツ：アルス・エレクトロニカ



文化・産業プログラムが、まちの魅力・価値の向上に重要な役割を果たした事例

オースティン：サウスバイサウスウエスト



広場・商業機能等を中心として再生した事例 (パリ：フォーラム・デ・アールの再生)



広場・商業機能等を中心として再生した事例

パリ：フォーラム・デ・アールの再生

- 施設の老朽化や衛生面の問題から、1969年に市場がパリ南部に移転
- 移転した市場の跡地に地下鉄駅と一体的な商業施設を整備(1979年開業)



広場・商業機能等を中心として再生した事例

パリ：フォーラム・デ・アールの再生

- 1979年に開業した施設の老朽化等を背景として、現在再々開発が進められている
- 地下鉄や一部施設を営業しながら改修が行われ、2016年に新しいフォーラム・デ・アールが開業



出典：画像©2018Google、地図データ©2018Google

広場・商業機能等を中心として再生した事例

パリ：フォーラム・デ・アールの再生

- 新しいフォーラム・デ・アールは、音楽・演劇学院等の文化施設に加えて、商業施設等もある複合施設となっている
- 地下3層のショッピングモールや文化施設等の施設を覆うカノペと呼ばれるガラスの大屋根や、その下の広場空間も特徴
- ガラスの大屋根の先には公園も計画され、2018年の完成に向けて現在建設が進められている



都市機能の整備・更新により、
まちの魅力・価値を創出した事例
(ビルバオ：文化機能等を中心とした都市再生)



都市機能の整備・更新により、まちの魅力・価値を創出した事例

ビルバオ：文化機能等を中心とした都市再生

○衰退した地域経済の活性化に向けて、美術館の建設、空港やトラムなどの基盤整備、国際会議場の建設など幅広い都市再生プロジェクトを展開



出典：画像©2018Google、地図データ©2018Google、Inst. Geogr. Nacional



グッゲンハイム美術館



エウスカルドゥーナ国際会議場



トラム (路面電車)



ビルバオ空港



アバンドイバラ地区の再開発

都市機能の整備・更新により、まちの魅力・価値を創出した事例

ビルバオ：文化機能等を中心とした都市再生

- プロジェクトの象徴ともされるグッゲンハイム美術館は1997年10月に開館
- 年間入場者数は約100万人前後

参考：独立行政法人国際交流基金調査報告書等

＜グッゲンハイム美術館周辺の公共空間の様子＞



グッゲンハイム美術館の概要

- 敷地面積 : 約33,000m²
- 延床面積 : 約24,000m²
- 機能 : 展示、ライブラリー、ホール、
オフィス、ショップ・レストラン等

複合機能を導入する開発により、 まちの魅力・価値を創出した事例

(ニューヨーク：パシフィックパークブルックリン
プロジェクト)



複合機能を導入する開発により、まちの魅力・価値を創出した事例

ニューヨーク：パシフィックパークブルックリンプロジェクトによる都市再生

- 鉄道の車両基地があった約9haの土地における、オフィス機能(約3万㎡)や居住機能(約55万㎡)、商業機能(約15万㎡)等を含む複合的な開発で、アリーナと一部の居住機能は既に建設されている。(プロジェクトの完了は2025年を予定)
- プロジェクトでは、複合的な都市機能に加えて、地下鉄の新しい出入口や約3ha強のオープンスペースなどの都市基盤施設整備も実施

参考：pacific park brooklynホームページ



参考：
築地セイル
スケール



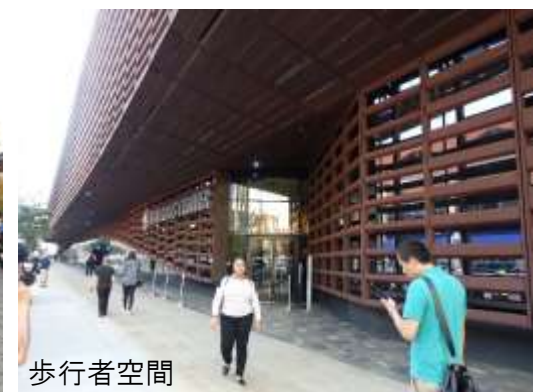
バークレイズセンターと居住機能



オープンスペース



地下鉄の出入口



歩行者空間

出典：画像©2018Google、地図データ©2018Google

複合機能を導入する開発により、まちの魅力・価値を創出した事例

ニューヨーク：パシフィックパークブルックリンプロジェクトによる都市再生

- プロジェクトエリア内に建設されたバークレイズセンターは、NBAのブルックリンネッツおよびNHLのニューヨーク・アイランダースの本拠地
- 年間200以上のイベントを実施

参考：pacific park brooklyn ホームページ

バークレイズセンター



バークレイズセンターの内部



バークレイズセンターの概要

延べ床面積 : 約63,000m²

機能 : アリーナ(18,000席バスケットボール、19,000席コンサート)

文化・芸術プログラムがまちの魅力・価値の 向上に重要な役割を果たした事例

(リンツ：フェスティバルを中心に都市の賑わい
を生むアルス・エレクトロニカ)



文化・芸術プログラムがまちの魅力・価値の向上に重要な役割を果たした事例 リンツ：フェスティバルを中心に都市の賑わいを生むアルス・エレクトロニカ

- アルス・エレクトロニカフェスティバルの開催（1979年）の後、メディアアートのコンペティションやアルス・エレクトロニカセンターの設立などを経て、現在は、メディア・カルチャーの領域で国際的なネットワークハブを展開
- 2009年には、リンツ市が欧州文化首都に選定

参考：アルス・エレクトロニカHP



アルス・エレクトロニカセンター（2009年にリニューアル）



文化・芸術プログラムがまちの魅力・価値の向上に重要な役割を果たした事例

リンツ：フェスティバルを中心に都市の賑わいを生むアルス・エレクトロニカ

- 1979年から毎年行われている最先端のアート、テクノロジーが集まるアルス・エレクトロニカフェスティバルは、約5日間程度にわたって開催される。
- 展示だけでなく、カンファレンスやワークショップ、パフォーマンス等が街を使って開催され、例年約9万人前後が来訪
- ドナウ川沿いのオープンスペースや街なかのオープンスペース等を使ったプログラム等も特徴



夜のドナウ川沿い（ドローンを用いたインスタレーション）



OKセンター（テクノロジー・アート）



アルスエレクトロニカセンター（デジタルアートとサイエンス等）



ポストシティ：郵便局のリノベーション（メイン会場・カンファレンス等）

文化・産業プログラムがまちの魅力・価値の
向上に重要な役割を果たした事例
(アメリカ：オーステイン)



文化・産業プログラムがまちの魅力・価値の向上に重要な役割を果たした事例 オースティン：街全体でコンベンションを展開するSXSW(サウス・バイ・サウスウエスト)

- 1987年に音楽を主体として始まったイベントで、現在はテクノロジーや音楽、スタートアップ等の産業が集まる大規模なコンベンションイベント
- 街なかに点在する会場やオープンスペースを使って街全体でプログラムが展開されることが特徴

参考：sxswホームページ等



カンファレンスの様子



街中の建物を活用した企業展示の様子 (IBM)



出典：画像©2018Google、地図データ©2018Google

文化・産業プログラムがまちの魅力・価値の向上に重要な役割を果たした事例 オースティン：街全体でコンベンションを展開するSXSW(サウス・バイ・サウスウエスト)

- 2017年は、オースティン市に約3.48億ドルの経済効果があったとされている
- 14日間のプログラムの合計参加者数は約44万人に上るとされている
- 過去にTwitterが賞を受賞し世界的に広がるきっかけになったとされている

参考：sxsww press release



街中の建物を活用した企業展示の様子（パナソニック）



企業展示スペースを利用した夜の交流の様子



街中の建物を活用した企業展示の様子（DELL）